

30【P1】 I -005

(+)-TAN1251D の合成研究

○高山 淳¹, 水谷 尋丈¹, 本多 利雄¹ (星薬大)

【目的】 *Penicillium thomii* RA-89 に含まれる(+)-TAN1251D は選択的ムスカリン M₁ 受容体拮抗作用を有することが知られている。この特徴的な構造を有する(+)-TAN1251D の効率的合成法の確立を目的とした。

【結果・考察】 入手容易な L-tyrosine を2分子用い、数工程で化合物(1)に誘導した。次いで化合物(1)を脱 Boc 後、アルカリ処理することにより環化体(2)へと誘導し、脱 MPM 化することにより鍵反応であるスピロ環構築の前駆体(3)を合成した。化合物(3)を超原子価ヨウ素試薬で処理することにより目的とする閉環体(4)を得た。更に化合物(4)を数工程で化合物(5)へと変換した。現在、化合物(5)を脱ベンジル化、次いで prenyl 化することで(+)-TAN1251D への変換を検討中である。

